

科目名	ミュージックリテラシー 3								年度	2025
英語科目名									学期	前期
学科・学年	コンサート・イベント科 2 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義	
担当教員	研井 陽介			教員の実務経験		有	実務経験の職種		ライブ制作/アーティストマネジメント	
【科目の目的】										
音楽を職業として成立するために重要な著作権を基軸として、さまざまな権利の必要性和その行使方法の理解を深めることで、職業として音楽を捉える意識を高めることや、ビジネスチャンスを発見したり生み出したりする可能性を広げることを目的とする。										
【科目の概要】										
音楽業界、音楽に関連した職業に就くための知識の幅を広く学習します。アーティストとともに仕事をするうえで、音楽コンテンツ作成の流れやアーティストの仕事の流れの理解を目的とします。										
【到達目標】										
音楽ビジネスにおける様々な業界・職業の存在とその役割、それぞれの関係性を把握すること、自身の考えを表現したり、他者の意見から学ぶコミュニケーション力を身につけることを目標としている。と同時に、音楽業界における様々な職種の、いずれに進むことになっても、その他の職種への理解とリスペクトを持つことができるようになることを目標とする。										
【授業の注意点】										
実際に音楽業界で求められるキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1					
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力					
到達目標 A	著作権全てを理解し ビジネスに展開する 思考を持てる		著作権の話の内容を理解でき 応用に繋げる姿勢がある		著作権の単語のみ理 解しているが 説明はできない					
著作権の話の内容を理解できる										
著作権の話の大枠を理解できる										
到達目標 B										
到達目標 C	著作権の概要を理解 でき、他人に説明ができる		著作権の話の大枠を理解できる							
到達目標 D	著作権の概要を理解している				著作権の概要を理解 していない					
到達目標 E	著作権の大枠を理解できている									
【教科書】										

毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

【参考資料】

適時、動画上に資料を提示。状況によっては参考プリントなどを配布。

【成績の評価方法・評価基準】

- *試験と課題を総合的に評価する。
- *積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		ミュージックリテラシー 3			年度	2025	
英語表記					学期	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	音楽の著作権とは/ 講師紹介	講師紹介 1年を通しての概要 説明	1	講師自己紹介	講師の素性を知る	3	
			2	音楽の著作権とは	授業の大まかな概要を知る		
			3	その他の著作権との相違点	音楽以外の著作権との違い理解する		
2	レコード会社と 著作権の繋がりを 知る	レコード会社と著作 権の繋がりを知る	1	メジャーとインディーズの違い	メジャーとインディーズの違いを理解する	3	
			2	アーティストはどの時点で	アーティストがどの時点から著作権が発生することを理解する		
			3	著作権が発生するか			
3	プロダクション というもの	プロダクションと著作 権の繋がりを知る	1	プロダクションとは	プロダクションの概念を理解	3	
			2	著作権との繋がり	現代のプロダクション構造・著作権の関わりを理解		
			3				
4	JASRC (日本音楽著作権協会)とは	JASRCの意味と仕組みを知ろう	1	JASRCの仕組み	JASRC（日本音楽著作権協会）の存在意義を理解する	3	
			2				
			3				
5	著作隣接権について	隣接権に関わる権利を知る	1	著作権と隣接権の違い	著作者と隣接権者の違いが理解できる	3	
			2	実演家	実演家とはを理解する		
			3	レコード製作者	レコード製作者とはを理解する		
6	著作権の種類①	複製権	1	複製権	複製権が何のために存在してるのかを理解する	3	
			2				
			3				
7	著作権の種類②	演奏権	1	演奏権	演奏権が何のために存在してるのかを理解する	3	
			2				
			3				
8	著作権の種類③	公衆送信権	1	公衆送信権	公衆送信権が何のために存在しているかを理解する	3	
			2				
			3				
9	著作権の種類④	譲渡権 貸与権 伝達権	1	譲渡権	譲渡権が何のために存在しているかを理解する	3	
			2	貸与権	貸与権が何のために存在しているかを理解する		
			3	伝達権	伝達権が何のために存在しているかを理解する		
10	カラオケの著作権	身近な著作権の複合体	1	著作権の複合体	身近に著作権を感じ、カラオケの構造を理解する	3	
			2				
			3				
11	著作権の種類④ 楽曲のアレンジ	翻案権 楽曲のアレンジについて	1	翻案権	翻案権が何のために存在しているかを理解する	3	
			2	楽曲アレンジをする際に起きる権利	楽曲のアレンジする際に関わる著作権を理解する		
			3				
12	著作権の期限	著作権の期限と世界の繋がり	1	世界と著作権	世界と著作権について学ぶ	3	
			2	著作権の期限	著作権の期限について理解する		

			3	著作権の範囲	著作権の範囲を正しく理解する		
13	現在の音楽シーンと昔の音楽シーン	CDが全盛期の時の著作権の徴収方法	1	現代の音楽の売り方と著作権に関わり	現代と昔の違いと著作権とCDの関係性の理解	3	
			2				
			3	著作権の徴収方法	現代と昔の違いの理解		
14	楽曲の盗作について	盗作	1	盗作とは	盗作の意味を理解	3	
			2	日本における盗作の例	実例を交えて盗作を学ぶ		
			3	著作権と裁判	法と著作権の関係性を理解		
15	前期まとめ	前期試験対策	1	前期試験対策	テスト範囲と前期の内容を理解	3	
			2				
			3				
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							